

件名	令和 5 年度福井市障がい者自立支援協議会 こども部会 報告書
日時	令和 6 年 1 月 25 日(木)10:00～11:30
会場	こども療育センター会議室 ※オンライン併用 傍聴 12 名
協議事項 1	令和 5 年度の取組内容の報告及び令和 6 年度の取組の方向性の検討(資料 1,2) 事務局より報告
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>放デイの空き状況について</u>検索しやすいようにしてほしい。 →基幹の HP 上で掲載。ハンドブックにも HP に繋がるリンクを貼る。 ・ 障がい福祉課の HP から見て、法人の記載があっても基幹相談支援センターの URL がなく、再度検索し直さないといけない。 ・ HP の見やすさの部分について、HP の改良や、誰が見ていくのか、というところを頭に入れておいていただきたい。 →2 月から福井市の HP が新しくなる予定。より検索しやすくなるよう整備していきたい。
説明	<p>(会長)アンケート結果の公表の時期の確認をしたい。 →今年度中。</p> <p>(4)ハンドブックの修正案について (障がい福祉課)修正箇所 3 点の説明を行う。</p> <p>① ハンドブックの 4P に基幹の URL と QR コードを記載。各事業所の空き状況については「基幹の HP を参照ください」と記載し。リンクする。</p> <p>② 19P:学校のことについては、学校教育課から意見があり、特別支援学校・特別支援学級と適応指導教室を別枠とした。</p> <p>③ 28P:家族会・クラブ・サークル活動についての情報は団体側と掲載の同意が取れたところを掲載。枠外に【情報募集】と記載。他の団体にもアプローチしていきたい。掲載希望については問合せフォームから問合せ頂き、声を拾っていきたくて考えている。居宅生活支援部会で『障がい者の方のクラブサークル紹介』を HP に載せており、これにリンクさせた。</p>
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医師会へも家族会の紹介を依頼してもいいのではないか。ダウン症の会や糖尿病の会なども思いつく。ユーアイふくいは家族会の会場になっていることも多いため、チラシを設置してもいいのではないか。 ・ ハンドブックの周知自体がまだまだであると思うため、積極的に使い周知を図っていただきたい。
回答	<p>→保護者に窓口で周知を図っているチラシについてもデータ配信可能。修正後に、周知の協力をお願いしたい。基幹の HP へ繋がりやすいように、4P の下部に URL と二次元コードも記載していきたい。当事者の会については担当者と連絡を取り、許可がとれ次第掲載していきたいと考えている。</p> <p>団体数が増えていくようであれば HP を別にし、掲載の仕方は検討する。</p>

意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドブック表紙の最新情報紹介の QR コードのところに更新日の記載があるとわかりやすいのではないかな。 ・相談の窓口を保護者が迷わないように、一括にならないのか。規模的に難しいのであればもうちょっと分かるようにしてほしい。
回答	<p>→子育て世代包括支援センターは、国が妊娠期から子育て期まで通して相談できるようなセンターとして立ち上げる。今回子ども家庭庁が立ち上がり、<u>子ども家庭センター</u>として、子ども家庭総合支援拠点という、虐待の予防・対応をしていく拠点も含めた整備の動きの中で、福井市については、現在子ども家庭課の中に、子ども総合的相談の窓口として、令和6年度の4月から立ち上がる予定。子どものことで気がかりなどの相談はセンターで受け付け、障がいのことに関しても、申請が必要になれば障がい福祉課と連携して対応できるようにといった検討をしている。</p>
質問	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの世代包括支援センターはアオッサにあったが、こども家庭センターとなると繋ぎはどうなっていくのか。年中で5歳児検診・年長で就学前検診、それぞれ出てくる省庁が違うが、それぞれの庁内を横断的に検討し、受診待機や療育の部分での課題を検討していただきたい。
回答	<p>→5歳児検診については、子ども家庭庁が年度途中から通知を出してきている。受け皿の問題・福井市の2000人の出生をどうするかという問題・専門職問題、実施市町村が15%しかないという、実績の少なさ等。子育て支援課との連携や就学を見据えた繋ぎなど課題が色々ある中で、福井市として健康管理センター内で新たな形を協議している。4月からの実施は難しいが、また相談させていただきたい。</p>
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども家庭庁から12月28日づけで5歳児検診のチェックシートモデルが出ているようであるが、県は子育てファイルを作ってきたときに、アセスメントシートに新しいものを入れるのか検討が必要と考えている。療育センターも、県のこども未来課や高校教育課等と5歳児検診の在り方等について検討している。そこで始まると就学相談が大変だと思う。2000人が年中時に検診となってくると収集つかなく大変になると考える。問題は一つではない。こども家庭センターの他にも、障がい分野での、どこが窓口になるのかという周知の問題等。医療のほうでも、「福祉側から医療に相談をかけるときに、誰に相談すればいいのか」といった問題がある。保護者がやると大変だから保護者任せにしていけるのではなく、まとめていく人がまとめ、窓口を一本にして連携をとっていくところが課題解決の糸口なのかなと考える。ただ、本当に窓口を一本にした場合、『人に決められたくない、自分で決めたい』との自己決定がある中で、そのような方が困らないようにしていただきたい。
まとめ	<p>今いただいた意見などは来年度の課題提起シートの中にも重複しているところ</p>

説明 質問 回答 報告等	<p>ろもあるため、今年度中にしっかり精査し、来年度からの課題として挙げていく予定。</p>
まとめ	<p>①「特別支援教育センター実践研究発表会の案内」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視聴参加できない方への配慮として録画や資料の配布等の対応は可能か。→担当に確認する。 ・他市町を知る良い機会だと思う。教育と福祉が連携をする際の小児科医会のモデル事業として、医師が発達診療で、医療だけでは無理となるとき、教育や福祉の支援者に医療での色々な情報を伝えたいとのことで、研修会を越前市で開催し、GWで事例検討をし、顔の見える関係づくりを行った。昨年度はスクラム福井に依頼し坂井市で実施した。坂井市が開催した検討会に医師が参加し、講義や質疑、GW、事業所の発表などをした。 ・福井市の拠点事業「人材育成」の一環として、福井市内でも実施したいと伝え、コア会議で検討している状況。 ・福井市は規模が大きいため、単年度だけでは難しく、企画できれば。行政の方も、打ち合わせなどに参加してもらいたい。 <p>今の話での意見などがあれば会長まで。会長からコア会議のほうへ挙げる。</p>
協議事項2 意見等 回答	<p>③ 能登半島地震に関連し、福井市での災害時の対応などの動きはあるのか。</p> <p>→市の防災計画では危機管理課がとりまとめている。福祉避難所や受け入れの検討などがあるが、個別避難計画で重度の方の避難方法を個々の計画として立てることを進めている。医療的ケアの必要な児童については、障害福祉課や保健所でプランを立てている。重度の方についての対応の話はしていたが、詰め切れていないし、発達障害の児童が避難所で過ごせないなどの課題もあるため、県内で起こった際の受け入れなども含め検討したい。</p>
意見等 回答	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害の方などの検討もしていただきたい。 <p>→大人であれば区分 5～6 であったり、避難計画に関して手を挙げている方には話が進んでいる。今後も引き続き検討していく。自立支援協議会として、災害の話も進めていきたい。</p>
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でも上からの指示系統が色々だったため困った。整備や準備も大切だがどのように誰がどこに伝えていくのかが重要。こういうところをスマートにしておいてほしい。迅速に決めてしっかり伝えていけるよう日頃から連携を深めていただきたい。指示があれば動けるためお願いしたい。 ・行政がパンクした場合の応援依頼先も想定した対策もあったほうがいい。